

「南紀白浜エアポートと連携したオンデマンドバス」 チョイソコ白浜

和歌山県紀南エリアにおける官民連携の取組み「One TEAM」

西日本旅客鉄道株式会社
近畿統括本部 和歌山支社地域共生室
担当課長 御堂 直樹

これまで競合していた紀南エリアの交通事業者（鉄道・バス・空港）と行政（県・振興局・市町）が「連携」し、課題解決に向けた取り組みを検討、実施することがローカルエリアでは重要。

【構成団体※6/7現在】

和歌山県（港湾空港局・地域振興局・西牟婁振興局）

白浜町（総務課・観光課）

株式会社南紀白浜エアポート

明光バス株式会社

西日本旅客鉄道株式会社（和歌山支社）

熊野御坊南海バス株式会社

株式会社アワーズ

One Teamスタートまでの経緯

▼ 包括連携協定締結式



エアポート×明光バス×JR
包括連携協定締結

▼ すさみ町で実施したワーケーション



JR西日本和歌山支社に
地域共生室が発足

▼ 紀南エリアでのサイクリングで懇親を深める



会議室以外での交流（先ずは互いを知る）
構成メンバーと潮岬へサイクリング

2019/5

2022/10

2023/1

2023/4

2023/5

- 締結後、3者で協議し「おすすめモデルコース」を作成し公開したが大きな成果には繋がっていない
- 2023年頃から他の紀南エリア交通事業者や行政機関等と連携を拡大していく
- 競合→共創で紀南エリアの課題解決、地域活性化の取り組みへ
- 以降、少しずつ解決策の実行に繋がりがつつある

紀南エリア交通事業者や
行政機関等と連携したPR活動



▲ 県・空港・JRの半被着用でPR
※地方紙「紀伊民報」で掲載

官民一体で課題解決に向けた
取り組みを検討していく場として
「OneTeamミーティング」スタート



▲ 第1回OneTeamミーティングの様子
課題と解決策について議論スタート

One Teamをスタートして以降の連携・取組み

● 第1回One Teamミーティング (2023/5/29)

→白浜駅や白浜空港でのバス接続改善や白浜エリア内のタクシー不足についてJRから課題提起

● 第2回One Teamミーティング (2023/10/4)

→オンデマンドバス実証運行に向けたアクションプラン、バス接続改善進捗状況確認

▼ 第2回OneTeamミーティングの様子



● 白浜駅から白浜空港間バス接続改善 (2023/11/10～)

→明光バスの時刻改正によりJRきのくに線～明光バス～白浜空港の乗り継ぎがスムーズに

● バス接続改善PR活動 (2023/11/29)

→駅（白浜駅、紀伊勝浦駅、新宮駅）および白浜空港でのOneTeamによるPR活動

▼ 鉄道から空港への明光バス接続改善ポスター



▼ PR活動が地方紙「紀伊民報」に掲載



▲ 白浜空港でのPR活動の様子

▼ (株) エアポートとの記者レク



▼ 運行開始初日のご利用シーン



● オンデマンドバス「チョイソコしらはま」運行開始 および報道公開 (2024/1/10～)

→運行開始初日に報道機関への概要説明、運行バス公開

※報道機関：NHK、産経新聞、毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、紀伊民報、共同通信、テレビ和歌山、白浜FM放送、FM田辺

● チョイソコ白浜PR活動 (2024/2/9)

→白浜駅および白浜空港でのOneTeamによるPR活動



▲ 白浜駅でのPR活動の様子

「チョイソコしらはま」実証運行について

○OneTeamミーティングでの議論

(第1回)

- ・ 白浜駅および周辺地域の慢性的なタクシー不足が継続的に発生している事について議論
 - ・ しかしながら、路線バスを新規運行を満たす需要まではない事も認識
- シームレス且つストレスレスな移動を実現するとともに、観光客および地元住民の両方を誘客することにより、観光地の高度化・高付加価値化を自律した地域交通の構築を目指す方向で検討に入る

(第2回以降)

- ・ 「交通・観光型連携事業（補助金）」の2次募集の情報を得て、既に地域の交通課題を解決するソリューションとして注目されていたチョイソコの技術を活用した新たな移動手段を目指すべく本補助金に申請する（結果：採択）
 - ・ 採択後、サービス内容やプロモーション等についてOne Teamメンバーで検討
- 主に交通結節点、観光施設、地域生活拠点等で計16箇所にバス停設置、決済手段はクレジット、交通系IC可
特急くろしお停車駅にはポスター・パンフレットを掲出、
(京都駅、新大阪駅、大阪駅、天王寺駅、和歌山県内特急くろしお停車各駅)

● 2024/1/10～「チョイソコしらはま」実証運行開始



「チョイソコしらはま」実証運行 結果

5

実施期間：2024/1/10～2/29

運行時間：12:00～23:30

料 金：1乗車あたり 大人680円（中学生以上） 小人340円（小学生）

※決済手段は現金、クレジットカード、交通系ICカード、QR決済

バ ス 停：16箇所（交通結節点、観光施設、地域生活拠点など）

車両台数：1台/日（明光バス、田辺観光バス、大塔交通社の共同運行）

予約方法：Webのみで乗車日の1週間前から乗車指定時刻15分前まで（24時間対応）

▼ 運行バス（写真は大塔交通社）



▼ クレジットカード等決済端末



○期間中の総利用者は850名

- ・ 目標1,000名には届かなかったが、**閑散期としてはオンデマンドバスの需要の高さを示す結果だと評価**
- ・ 日平均でも、**日を追うごとにPR効果あり（1/10～31:12名 2/1～9:20名 2/10～29:23名）**

○18時台が他の時間帯よりも特異な状況

- ・ 通常2～3回検索した上で最適な時間で予約確定される事が多く、予約確定件数に対し「予約しなかった」と「予約できなかった」件数は2～3倍
- ・ しかしながら、**18時台のみ予約確定件数に対し「予約しなかった」と「予約できなかった」件数が8～9倍**
- ・ **タクシードライバーの多くが帰宅する一方、駅/空港/アドベンチャーワールドから宿泊地等への移動需要が集中需給バランスが明らかに逆転**

閑散期においても多くの需要を取りこぼしている可能性が高い
→課題は繁忙期

○「チョイソコしらはま」第2弾実証運行に向けた連携スタート

- 共創プラットフォーム「空港×鉄道×バスが共創する白浜OneTeam」として令和6年度 共創・Maas実証プロジェクト事業（補助金）に応募
 - **申請した第2弾実証運行の計画が無事採択**
- 第2弾実証運行の詳細設計についてOneTeamミーティング等で議論
 - **需給バランスが逆転している時間帯のバス増便検討**
 - **バス停の再検討**
 - **観光利用向けのサービスやプロモーションの更なる検討**
 - **インバウンド旅客もターゲットにしたサービス検討（言語対応 等）**
 - **日常利用向けの更なる利用増を目指したサービス内容の検討**

One Team



ご清聴ありがとうございました

